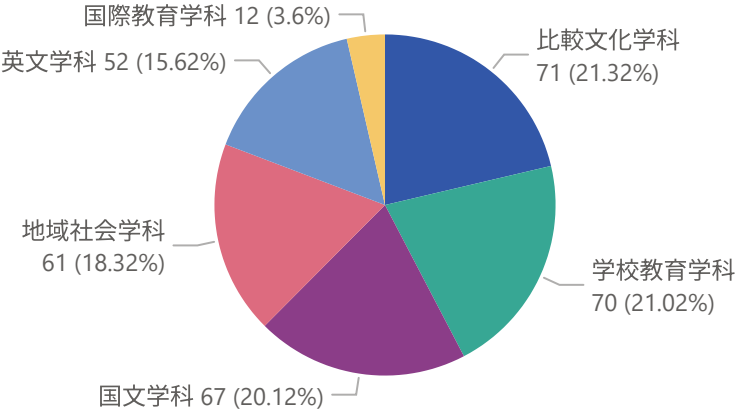


2025（令和7）年度文部科学省 全国学生調査 結果

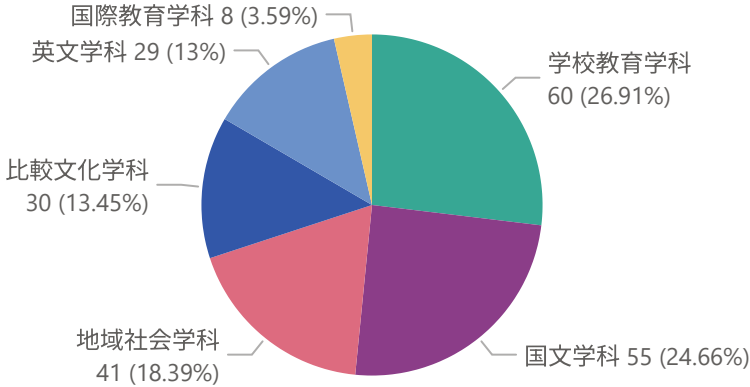
「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成30 年11 月26 日中央教育審議会）、「教学マネジメント指針」（令和 2 年1 月 22 日中央教育審議会大学分科会）、「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）」（令和 7 年2 月21 日中央教育審議会）等を踏まえ、令和 7 年度以降の全国学生調査（本格実施）を以下のとおり実施することとする。

2025年度 調査期間 ：2025年11月11日～2025年12月31日
調査対象者：2年生・最終学年 計1,780名
回答者数 ：556名（回答率31.23%）

2年生



4年生



2025年度（令和7年度）文部科学省 全国学生調査 本学結果概要

31.23%

回答率（556名／1,780名）

92%

授業の教え方に
工夫を実感

91%

専門分野の知識・
理解が深化

88%

他者と協働する
力が向上

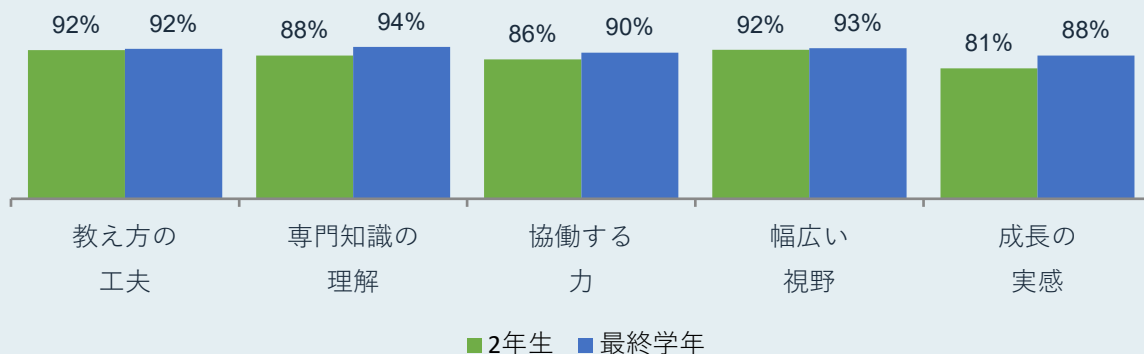
92%

幅広い視野が
身についた

84%

大学での成長を
実感

学年別 肯定的回答割合（上位2区分計）



注目トピックス

- 「授業の教え方が工夫されている」との回答が2年生・最終学年ともに9割を超える
- 学年が上がるほど、専門知識や協働する力の「身についた」との実感がさらに向上
- 異文化理解・幅広い視野の獲得についても8～9割台の高い評価
- 最終学年の約9割が「大学の学びによる成長」を実感していると回答

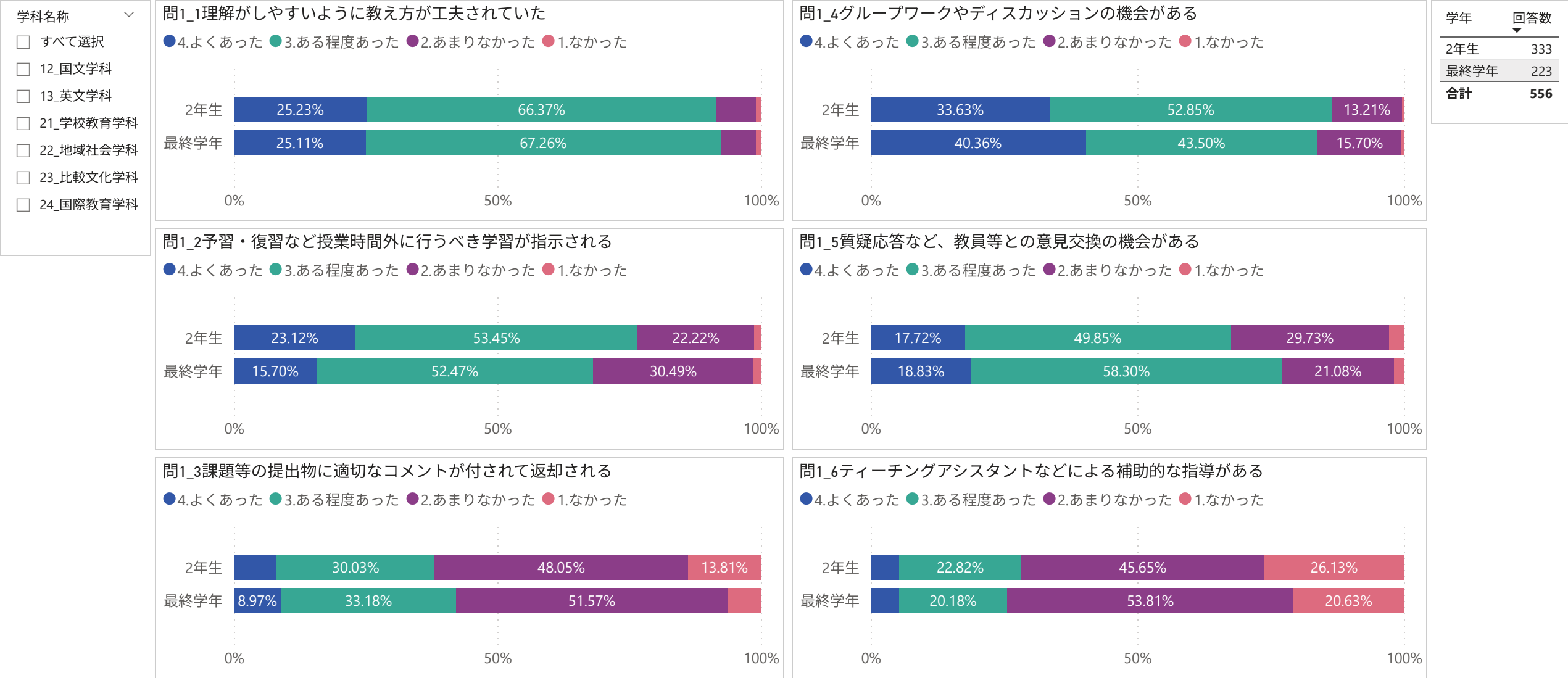
身についた力（その他の項目）

- 文献・資料を収集・分析する力：2年生80%／最終学年90%
- 論理的に文章を書く力：2年生76%／最終学年85%
- 人に分かりやすく伝える力：2年生69%／最終学年83%
- 将来の仕事につながる知識・スキル：2年生72%／最終学年80%

学びへの手応え

- 教職員が熱心に教育に取り組んでいる：2年生83%／最終学年84%
- 卒業時に身に付けるべき力を意識した学修：2年生80%／最終学年82%
- 学生の意見が授業改善に活かされている：2年生80%／最終学年81%

1.大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。



2.大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は①を選択してください。

学科名称

☐ すべて選択

☐ 12_国文学科

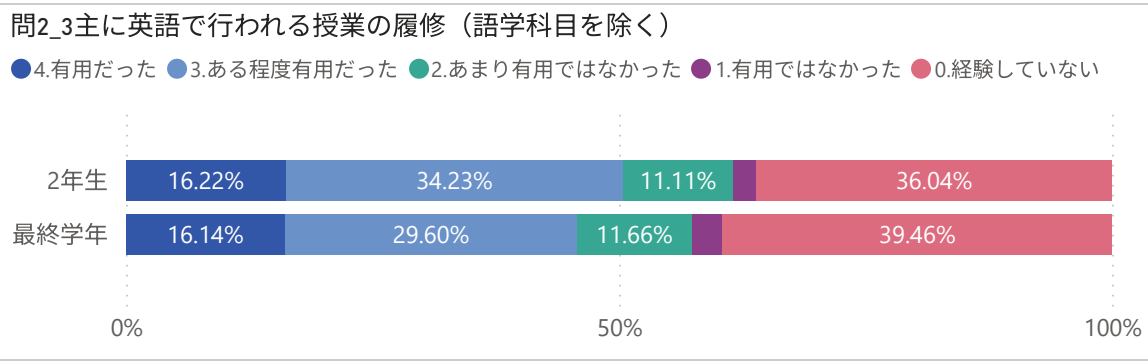
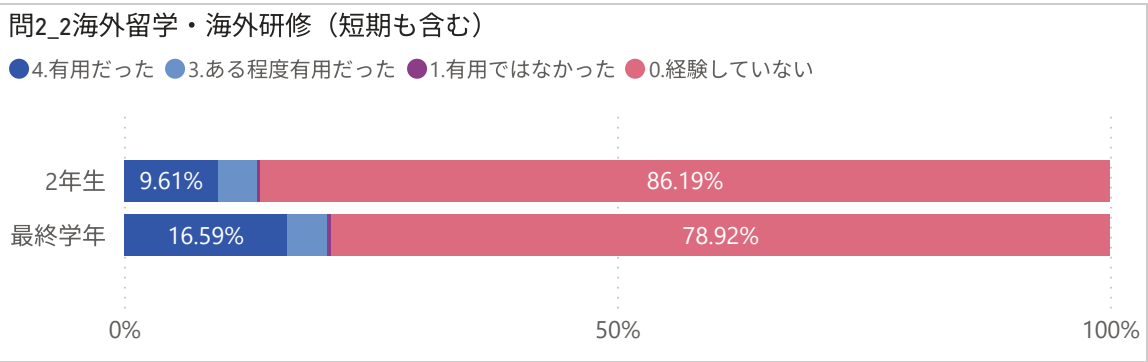
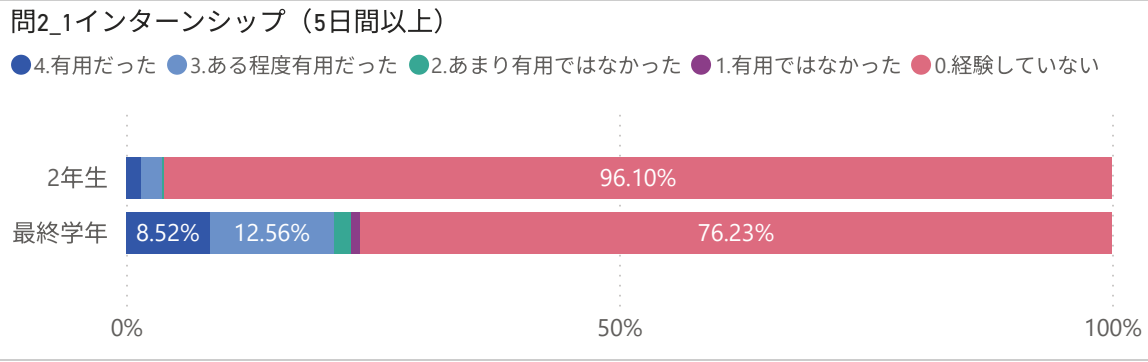
☐ 13_英文学科

☐ 21_学校教育学科

☐ 22_地域社会学科

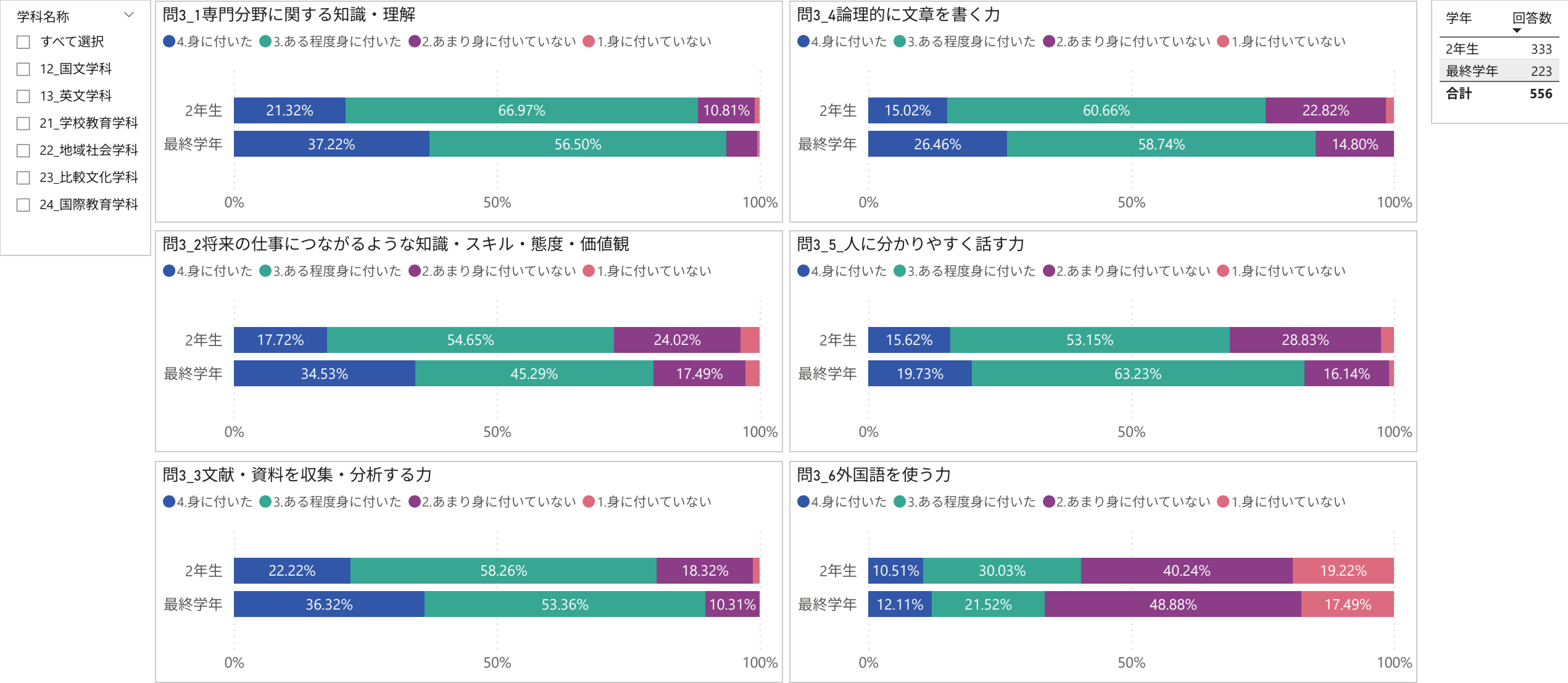
☐ 23_比較文化学科

☐ 24_国際教育学科



学年	回答数
2年生	333
最終学年	223
合計	556

3.大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。



3.大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

学科名称

☐ すべて選択

☐ 12_国文学科

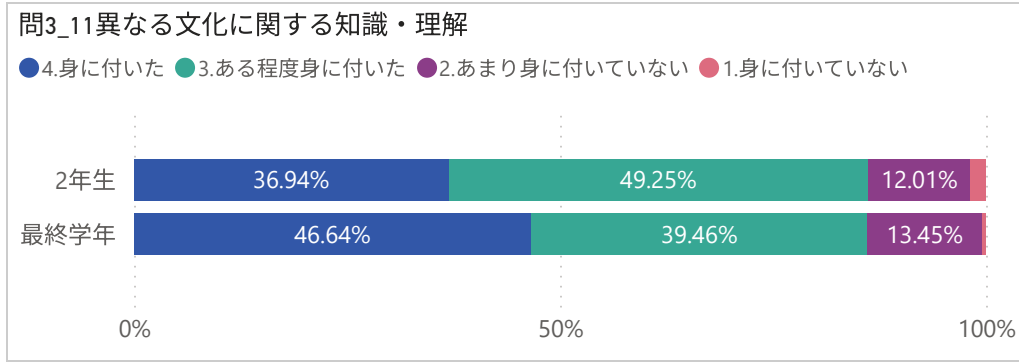
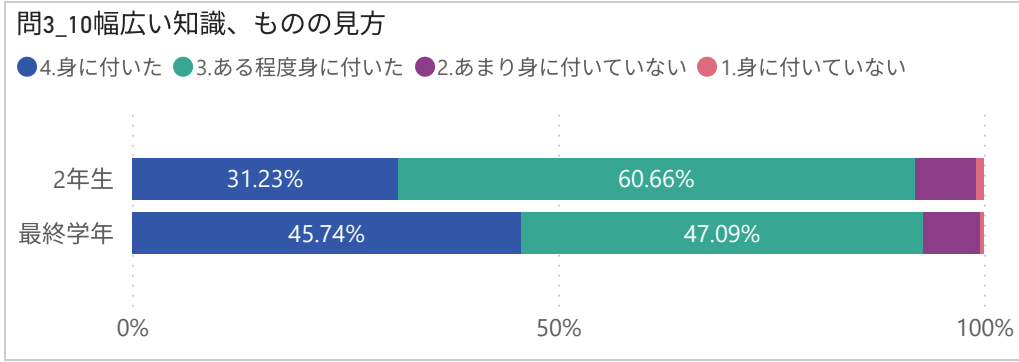
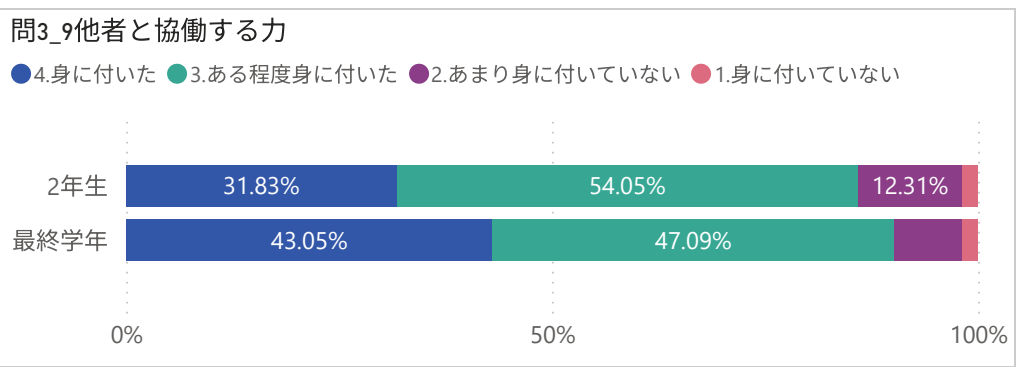
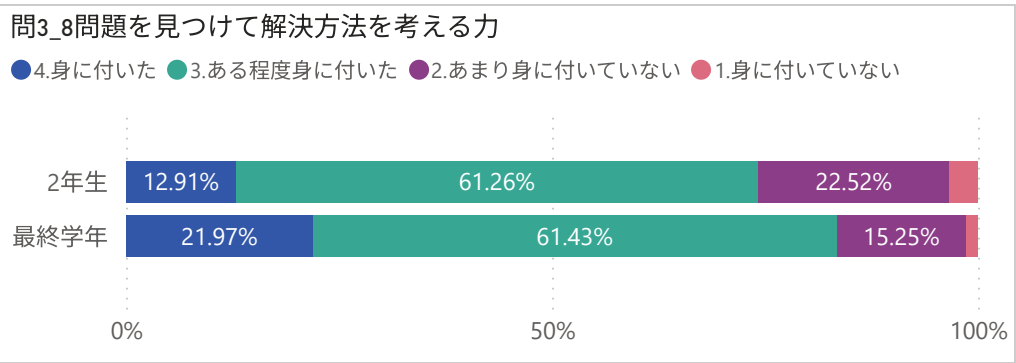
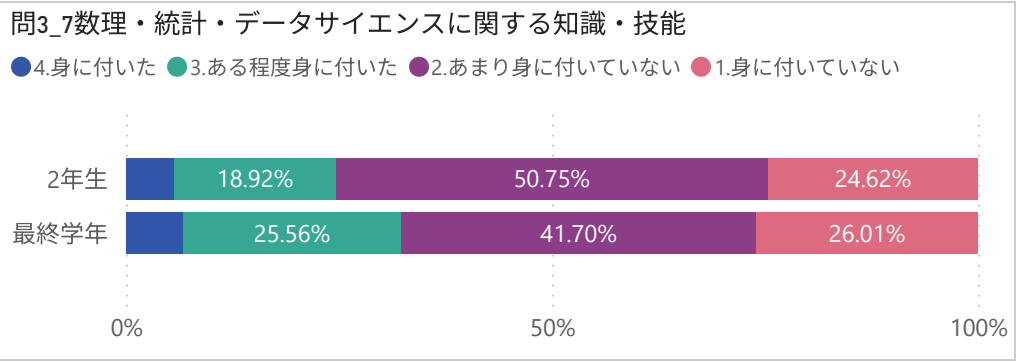
☐ 13_英文学科

☐ 21_学校教育学科

☐ 22_地域社会学科

☐ 23_比較文化学科

☐ 24_国際教育学科



学年	回答数
2年生	333
最終学年	223
合計	556

4.これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

学科名称

☐ すべて選択

☐ 12_国文学科

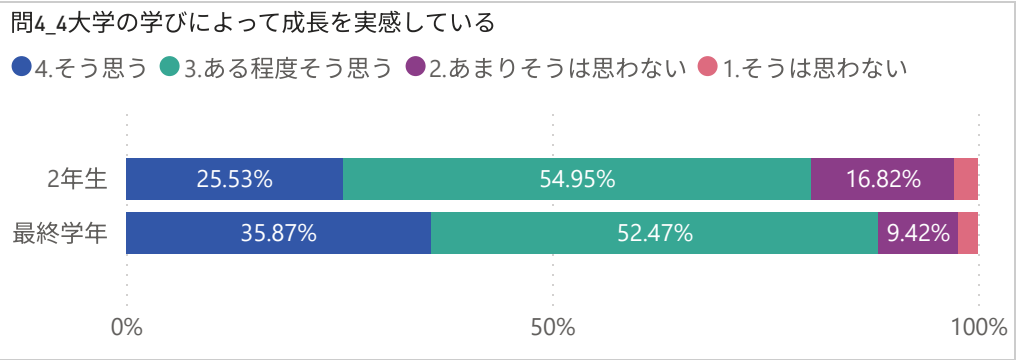
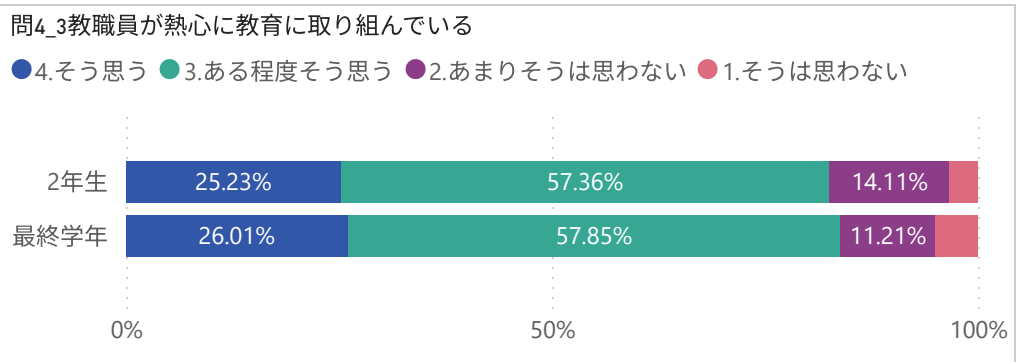
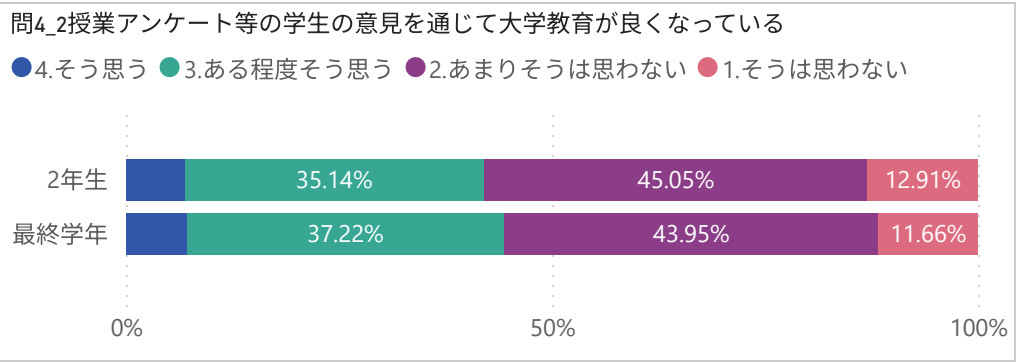
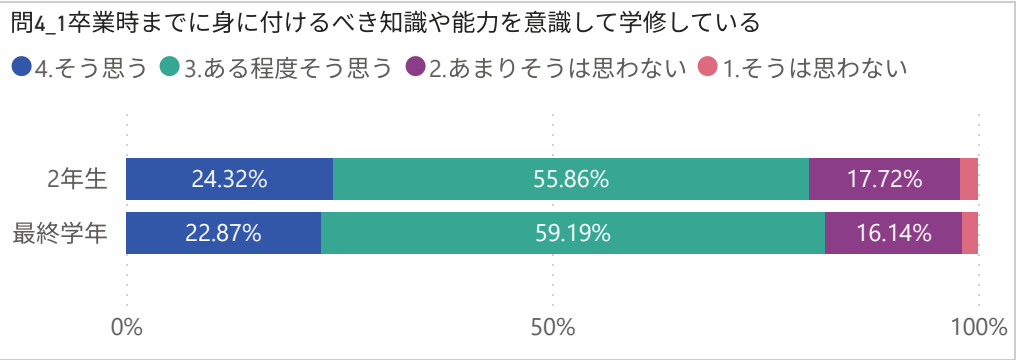
☐ 13_英文学科

☐ 21_学校教育学科

☐ 22_地域社会学科

☐ 23_比較文化学科

☐ 24_国際教育学科



学年	回答数
2年生	333
最終学年	223
合計	556

5.今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

